



管理庁舎1階には礎石のレプリカが展示されています



▲ 礎石



▲ ダム本体工事の礎として礎石をダムの中へ一体にした埋納の儀

◀ 監査廊深層部の定礎石

施設DATA

DATA No.

202211

施設名	定礎石
横幅	67cm (常時満水位標高 - 基礎地盤標高 = 66.4m)
高さ	39cm (ダム堤体積 3,840千m ³)
上部奥行	24cm (ダム総貯水容量 2,400万m ³)
下部奥行	38cm (ダム流域面積 38km ²)

ロックフィルダムは中央コア部を粘土質で築造することから、ダムに水を貯めていることから、礎石を埋めたままにはない

施設概要

CARD-DATA

礎石は建物や土木構造物の土台となって柱などを支える石（いしずえ）のこと。この礎石の辺の長さはダム堤体や貯水池の大きさなどに応じて決められている。ロックフィルダムの構造上、礎石を埋めたままにはできないため、現在は基礎岩盤内に造られた監査廊の最深部でダムの安泰を見守っている。

ランダム情報

ななせダムでは平成28年2月28日にダム本体工事の礎として礎石をダムの中へ一体にした埋納の儀を執り行い、礎石を埋納し、ダムの永久堅固と安泰を祈念する定礎式が行われた。

